



日本甲虫学会 Coleopterological Society of Japan

HP : <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter : https://twitter.com/Coleopt_Soc_Jpn

(またはハッシュタグ [#甲虫学会](#))

甲虫学会会長・年頭ご挨拶 「ベトナム・ピャオアク山の甲虫に再会」

野村周平

甲虫学会会員の皆さん、明けましておめでとうございます。新年が皆様とご家族にとって、最良の年となるよう願っております。今年も昨年に引き続きまして、お引き立ていただきますよう、心からお願い申し上げます。昨年 2017 年は私にとってなかなか大変な年でした。採集調査のために、フレンチギアナに2回、ミャンマー、ベトナムに各1回出かけました。その中で、8月中旬にベトナムを訪問した時のこととお話します。今回のベトナム訪問は、1998年と1999年に訪れたことのある、北部カオバン(Cao Bang)省のピャオアク山(Mt. Phia Oac)を再訪することになりました。ハノイからカオバンへは、途中のタイ・グエンまで高速道路ができていましたが、やはり遠く、日差しが傾きかけたころにようやくたどり着きました。1998, 99年に訪れたときには、山の周囲にホテルがなく、軍用のテントを持って行って、道端にキャンプを張ったものでしたが、今は途中の峠の鞍部に立派なホテルが建っており、そこから毎日通うことになりました。早速山頂(図左)へ向かうと、1時間もかからずにたどり着くことができました。山頂には軍の施設があり、それを取り巻くように歩道や駐車場が整備されていました。

それから数日間、ホテルと山頂を往復してライトトラップやウィンクラー装置でアリヅカムシやその他の甲虫を採集しました。アリヅカムシでは、1998, 99年時に採集していた、Nomuraisus 属の新種を再び採集することができました。また灯火採集も行って、カツラキンオニクワガタ(*Prismognathus katurai*) (図右)などの興味深い甲虫を手にすることができました。ピャオアク山の山頂域は今のところうっそうとした雲霧林ですが、登山道の開削や、休日盛んに上ってくる観光バスの排気ガスで、林の乾燥化が進むのではないかと心配です。

(update: Jan 01, 2018)



左：ピャオアク山山頂方面遠望；右：灯火採集で採集されたカツラキンオニクワガタ。

学会誌最新号の目次（リンク）

Elytra N. S. 7 巻 2 号

[http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/elytra/ElytraNS-07\(02\).html](http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/elytra/ElytraNS-07(02).html)

さやばね N.S. 28 号

[http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/sayabane/SayabaneNS\(28\).html](http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/sayabane/SayabaneNS(28).html)

2018 年度大会・例会のご案内

※日程は変更になることがあります。必ず最新号の和文誌「さやばね」や HP でご確認ください。

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/event.html>

- 年次大会 Annual Meeting
宇都宮大会：12月1日（土）・2日（日）（予定）
- 調査観察会 Excursion
計画中（候補地募集中）
- 東京例会 Tokyo
第1回：3月10日（土）
第2回：9月1日（土）
第3回：未定
- 名古屋例会 Nagoya
第1回：2月4日（日）
第2回：未定
- 大阪例会 Osaka
春季例会：3月24日（土）
秋季例会：9月29日（土）
年末例会：12月8日（土）

アイコンをアイヌハンミョウに変更しました

今年（いぬ）は、アイヌハンミョウにしてみました。2017年はフチトリアツバコガネでした。

日本甲虫学会 ニュースレター 第14号

2018年1月23日発行 ※本ニュースレターは主にHPの更新履歴に基づき、プレーンテキストにてご希望の方に不定期でメール配信します。お申込は下記サイトからどうぞ。過去の更新履歴も、PDFでご覧いただけます。配信停止ご希望の方はご連絡ください

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

（web担当：初宿 shiyake@mus-nh.city.osaka.jp）

※11月の静岡大会参加者には本号から追加してお送りしていますが、もし配信不要でしたらご連絡ねがいます。